

奨学金養成医師のみなさまへ

岩手県立中央病院の専門研修プログラムは、内科系、外科系、産婦人科、整形外科、放射線科、救急科、麻酔科、総合診療科がありますが、いずれも当院が基幹型となります。

当院での専門研修期間（3年～4年）は奨学生として必要となる公的病院勤務となるため、専門医取得を目指しながら奨学生としての義務履行を同時に行うことが可能であり、奨学生のみなさまは将来のライフスタイルを考えるうえで選択肢の幅をひろげることが可能です。

※奨学金養成医師 = 医療局医師奨学資金・岩手県医師修学資金・市町村医師養成修学資金の貸与者

<奨学金養成医師の配置基本ルール>

6年～9年間公的医療機関に勤務する中で、基本的な配置のルールが次のとおりです。

（図は6年間の場合）



公 的 基 幹 病 院 …岩手県立中央病院、岩手県立病院（中部・胆沢・磐井・大船渡・釜石・宮古・久慈・二戸）
 そ の 他 の 公 的 病 院 …岩手県立病院（遠野・東和・江刺・南光・大東・千厩・高田・大槌・山田・一戸・軽米）等

<専門研修と奨学金義務履行の関係>

岩手県立中央病院での専門研修は奨学生としての義務履行も並行して行うことができます。

例) 岩手県立中央病院・内科プログラム専攻医（3年コース）・医療局奨学生（義務履行6年間）、循環器内科を志望サブスペシャリティとする専攻医の場合 ※ローテートは一例です



専門研修と奨学金義務履行を両立して行うことができます。